



第2章 高齢者を取り巻く現状

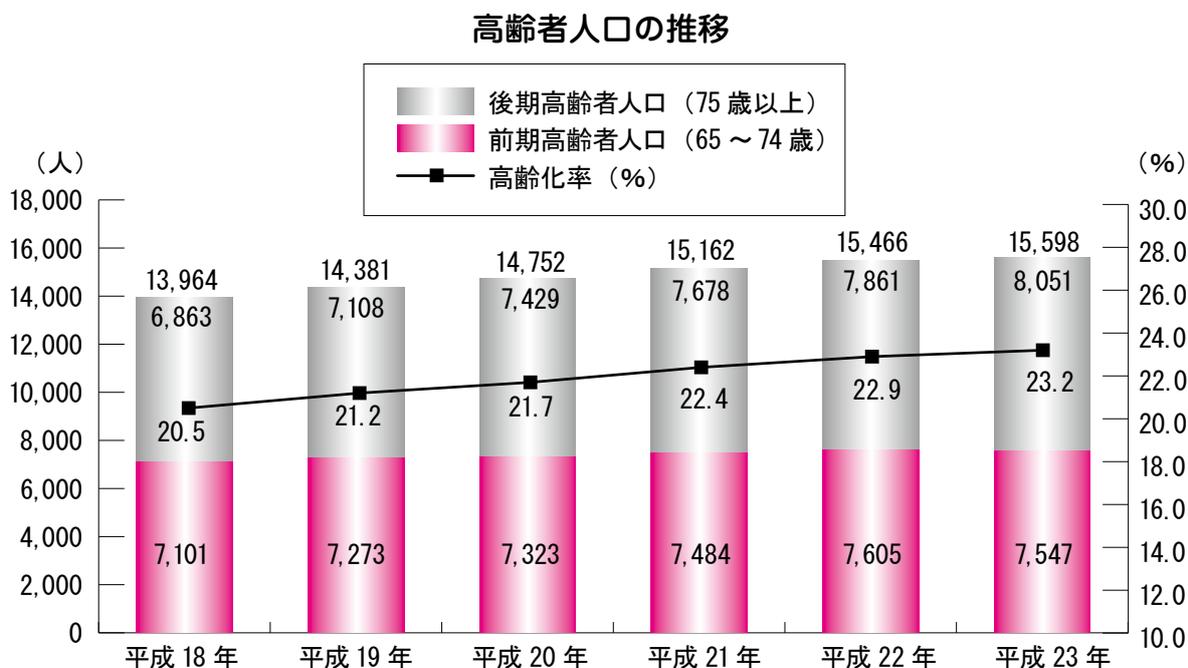
第2章 高齢者を取り巻く現状

【1】高齢者人口の現状

1. 総社市の高齢者人口等の推移

本市の人口は、平成23年3月末現在67,306人で、近年は緩やかな減少基調で推移していますが、高齢者人口（65歳以上）は年々増加しており、平成23年では高齢化率は23.2%となっています。本市においても高齢化は着実に進行している状況です。

平成18年を起点とした高齢者人口の推移をみると、前期高齢者である65～74歳は6.3%の増加であるのに対して、後期高齢者人口（75歳以上）は17.3%の増加を示し、今後もこの傾向は継続していくものとみられます。

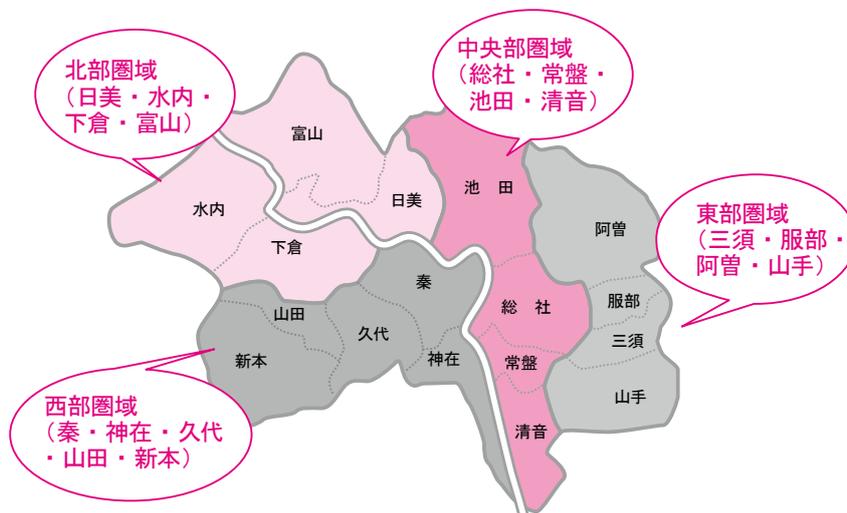


	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	伸び率* (%)
総人口	68,011	67,809	68,065	67,834	67,439	67,306	99.0
40～64歳人口 (第2号被保険者)	22,620	22,275	22,232	22,030	21,931	22,069	97.6
65歳以上人口 (第1号被保険者)	13,964	14,381	14,752	15,162	15,466	15,598	111.7
前期高齢者 (65～74歳)	7,101	7,273	7,323	7,484	7,605	7,547	106.3
後期高齢者 (75歳以上)	6,863	7,108	7,429	7,678	7,861	8,051	117.3
高齢化率 (%)	20.5	21.2	21.7	22.4	22.9	23.2	—

資料：人口集計表（各年3月末現在）
※伸び率は、平成18年を100.0とした平成23年の増減割合

2. 日常生活圏域の状況

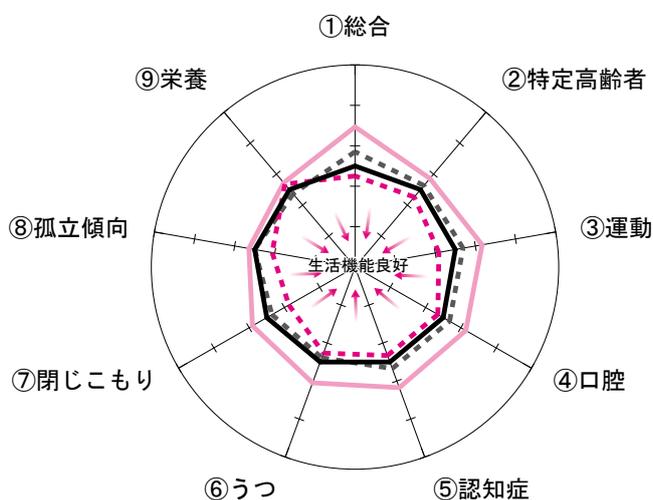
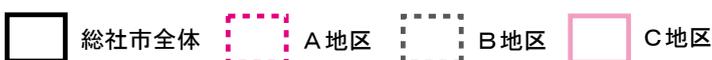
平成18年4月に実施された介護保険制度の改正では、高齢者や要介護等認定者を住み慣れた地域で支える「地域包括ケア」を推進するために、『日常生活圏域』という考え方が導入され、本市では「中央部」「東部」「西部」「北部」の4圏域を設定しています。以下に、日常生活圏域ごとの現状を整理します。



日常生活圏域の状況の整理にあたっては、市内在住の65歳以上の市民に対し、生活の実態や健康状態、介護保険制度に対する意見や将来ニーズなどを日常生活圏域ニーズ調査によって把握するとともに、この調査から、要支援や要介護の状態になるおそれの高い状態にあると認められる高齢者（以下「特定高齢者」と表記）の割合や、生活機能の状態を分析しています。

特定高齢者の現状については、次のような図を用いて分析しています。

■日常生活圏域ニーズ調査結果による特定高齢者の生活機能の状況（見本）



※円の中心に向かうほど「良好」、外周に向かうほど「低下」

※数値は、特定高齢者の割合や生活機能の状態など、次に掲げる9項目の調査結果の割合を基に、総社市全体を100とした場合の各圏域の割合（指数）を用いて表しています。円の中心部に向かうほど数値が低く、外周に向かうほど生活機能低下の人の割合が高くなります。

- ①総合：設問で10項目以上に該当する人
- ②特定高齢者：特定高齢者の割合
- ③運動：運動機能に関する設問（5項目）のうち3項目以上に該当する人
- ④口腔：口腔機能に関する設問（3項目）のうち2項目以上に該当する人
- ⑤認知症：認知症に関する設問（3項目）のうちいずれかに該当する人
- ⑥うつ：うつに関する設問（5項目）のうち2項目以上に該当する人
- ⑦閉じこもり：閉じこもりに関する設問に該当する人
- ⑧孤立傾向：閉じこもりと外出頻度低下項目に該当する人
- ⑨栄養：栄養状態に関する設問（2項目）に該当する人

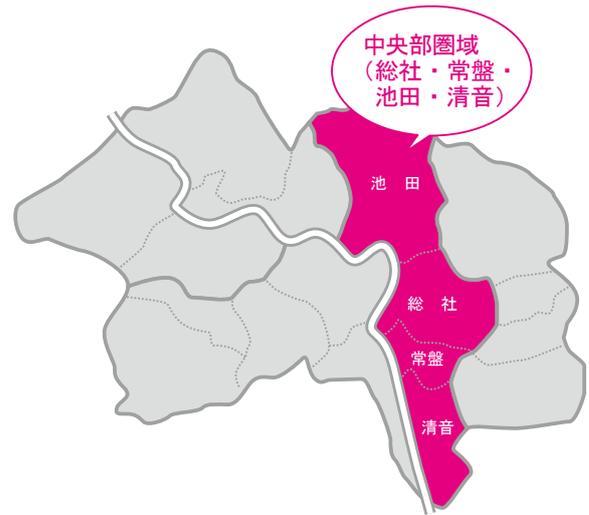
※該当項目に関する説明は98～99ページに示しています。

[1] 中央部圏域

(1) 高齢化の現状

「総社」「常盤」両地区は、比較的人口規模の大きな地区です。世帯数は多く、1世帯あたり人員は、他に比べ比較的少なくなっています。

高齢化率は「総社」「常盤」両地区は市内でも低い地域ですが、「池田」「清音」地区は比較的高齢化が進んでおり、特に「池田」の高齢化率は31.4%で中央部圏域の中で最も高くなっています。



	人口	世帯数	世帯人員※	65歳以上人口	高齢化率%	高齢者世帯数
総社市全体	67,306	24,569	2.7	15,598	23.2	2,999
中央部圏域計	40,329	15,415	2.6	8,150	20.2	1,709
総社	20,485	7,920	2.6	4,115	20.1	899
常盤	12,645	4,960	2.5	2,084	16.5	433
池田	1,485	534	2.8	466	31.4	99
清音	5,714	2,001	2.9	1,485	26.0	278

平成23年4月1日現在 ※人/世帯

(2) 介護保険等の施設整備現状

平成22年度末現在の整備状況	平成23年度中の整備予定
<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム（1施設80床） ・老人保健施設（1施設82床） ・介護療養型医療施設（1施設14床） ・小規模多機能型居宅介護（2施設43名） ・グループホーム（5施設81名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム（1施設60床）

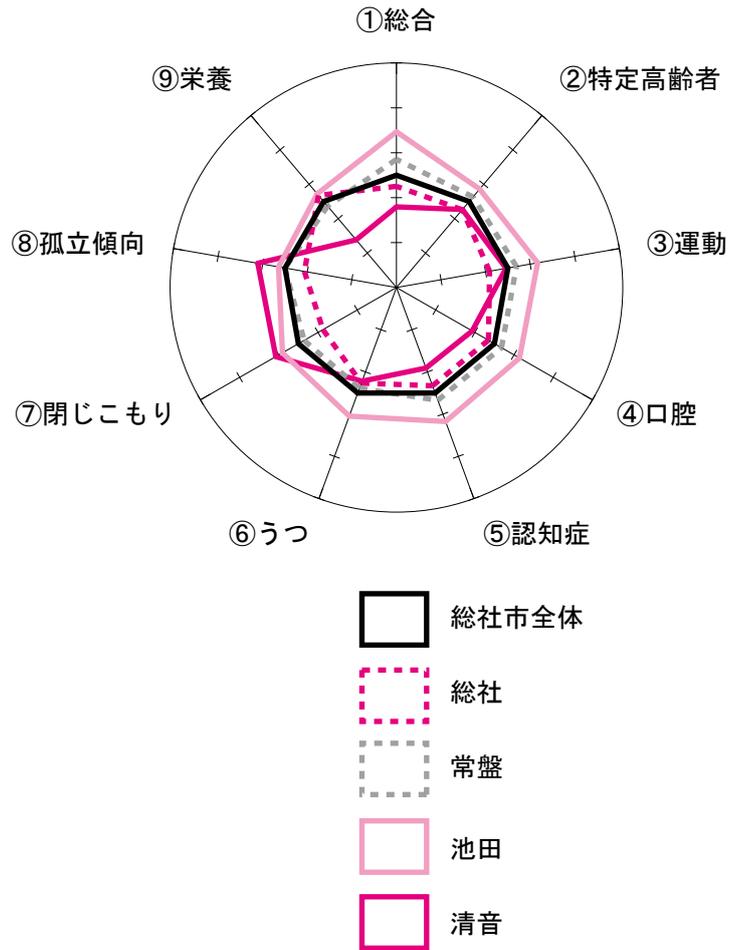
(3) 特定高齢者の現状

特定高齢者の割合は、圏域全体で43.0%ですが、「池田」で51.5%、「総社」で40.7%、「清音」で40.8%と地域差がみられます。性別では、男性37.1%、女性47.6%と他の圏域と比べて男女差がみられます。

	調査回収数	特定高齢者数	特定高齢者の割合(%)	性別割合		年齢別割合	
				男性	女性	前期高齢者	後期高齢者
総社市全体	2,012	905	45.0	40.9	48.2	33.6	59.4
中央部圏域	1,081	465	43.0	37.1	47.6	31.6	59.5
総社	553	225	40.7	34.2	45.7	30.4	55.5
常盤	266	126	47.4	42.0	51.3	34.0	68.3
池田	66	34	51.5	50.0	53.3	31.3	70.6
清音	196	80	40.8	33.7	46.4	31.6	54.4

■日常生活圏域二一ズ調査結果による特定高齢者の生活機能の状況

総社	<p>■高齢化率は20.1%と常盤に次いで低く、特定高齢者の割合も40.7%と全市内で最も低くなっています。生活機能項目では「運動」「閉じこもり」をはじめ全体的に生活機能が良好な人の割合が高くなっています。</p>
常盤	<p>■高齢化率は16.5%と全市内で最も低く、世帯人員も2.5人と最も低くなっています。生活機能項目は、市全体とほぼ同じ割合となっています。</p>
池田	<p>■高齢化率は31.4%と圏域内では最も高く、特定高齢者の割合も51.5%と最も高くなっています。生活機能項目では、生活機能が低下している人の割合が高くなっています。</p>
清音	<p>■高齢化率は26.0%と、全市の中ではやや高くなっていますが、特定高齢者の割合は40.8%と全市の中で2番目に低くなっています。生活機能項目では「栄養」「口腔」「認知症」の状況が良好な人の割合が高くなっています。</p>



(4) 圏域の課題

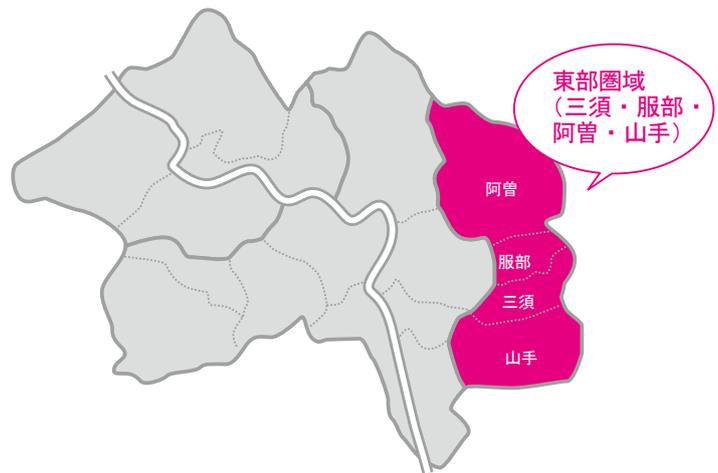
- 他の圏域と比べ健康状態、外出行動、社会活動などいずれも良好な状況にある高齢者が多く、病気や要介護状態への移行を予防する施策が引き続き求められます。
- 比較的若い世代の多い「総社」「常盤」地区と、高齢化率がやや高い「池田」「清音」地区で異なる傾向をみせており、各地区の実情に沿った施策をきめ細かに展開することが必要です。
- 全体的には健康な高齢者が多いものの、「池田」では、特定高齢者の割合が高く、生活機能が低下している人の割合も高く、地区の実情の把握に努めることが重要といえます。

[2] 東部圏域

(1) 高齢化の現状

人口は圏域全体で12,594人です。圏域の高齢化率は26.3%で、「三須」地区で30.2%、「阿曾」地区で30.5%とやや高くなっています。

世帯人員は3人前後とやや多くなっています。



	人口	世帯数	世帯人員※	65歳以上人口	高齢化率%	高齢者世帯数
総社市全体	67,306	24,569	2.7	15,598	23.2	2,999
東部圏域計	12,594	4,200	3.0	3,314	26.3	532
三須	3,071	1,065	2.9	927	30.2	181
服部	2,127	724	2.9	523	24.6	83
阿曾	2,852	1,003	2.8	871	30.5	153
山手	4,544	1,408	3.2	993	21.9	115

平成23年4月1日現在 ※人/世帯

(2) 介護保険等の施設整備現状

平成22年度末現在の整備状況	平成23年度中の整備予定
<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム（1施設80床） ・老人保健施設（1施設100床） ・介護療養型医療施設（1施設10床） ・グループホーム（3施設54名） 	・なし

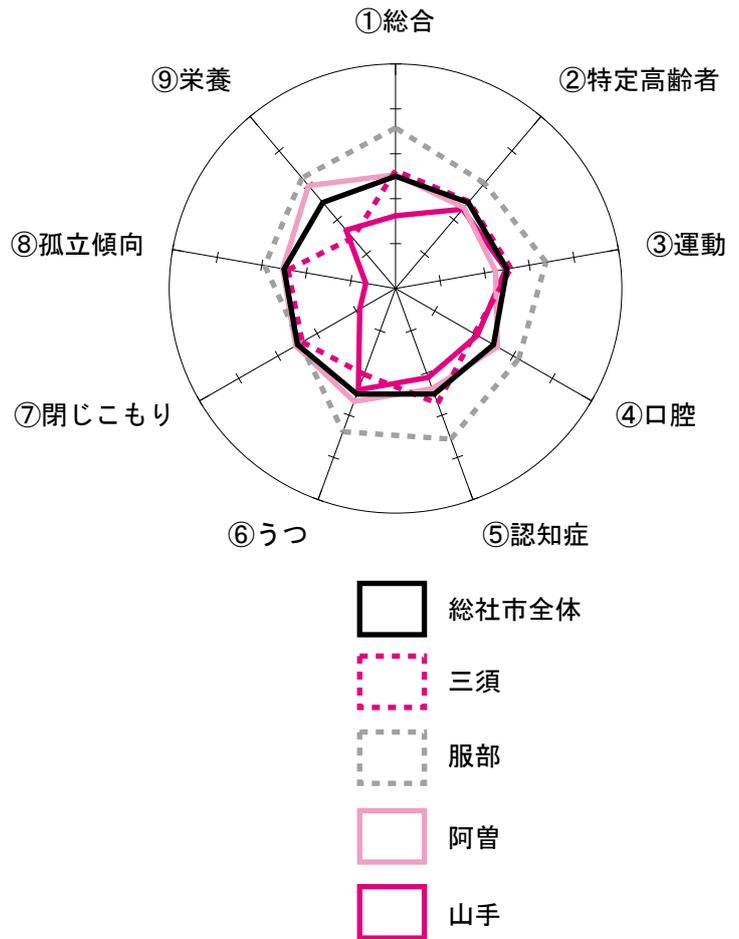
(3) 特定高齢者の現状

特定高齢者の割合は、圏域全体で45.0%と平均的ですが、「服部」では55.1%と他の地域を上回っています。

	調査回収数	特定高齢者数	特定高齢者の割合(%)	性別割合		年齢別割合	
				男性	女性	前期高齢者	後期高齢者
総社市全体	2,012	905	45.0	40.9	48.2	33.6	59.4
東部圏域	424	191	45.0	43.1	46.5	36.2	55.7
三須	121	55	45.5	40.0	49.3	35.6	60.4
服部	69	38	55.1	46.9	62.2	43.2	68.8
阿曾	104	44	42.3	45.2	40.3	32.7	50.9
山手	130	54	41.5	42.1	41.1	35.6	49.1

■日常生活圏域二一ズ調査結果による特定高齢者の生活機能の状況

三須	<p>■高齢化率は30.2%とやや高くなっています。特定高齢者の割合は市全体とほぼ同じ割合となっており、「栄養」状況は良好な人の割合が高くなっています。</p>
服部	<p>■高齢化率は24.6%で、市全体よりやや高めとなっています。特定高齢者の割合は55.1%と他の地域を大きく上回っています。生活機能項目からも、全体的に生活機能が低下している人の割合が高くなっています。</p>
阿曾	<p>■高齢化率は30.5%と、市全体よりやや高くなっています。特定高齢者の割合は42.3%と圏域内では比較的低く、生活機能項目の割合は、市全体とほぼ同じ割合となっています。</p>
山手	<p>■高齢化率は21.9%と、全市の中でも低く、世帯人員は3.2人と圏域内で最も多くなっています。生活機能項目では「閉じこもり」「孤立傾向」が良好な人の割合が高くなっています。</p>



(4) 圏域の課題

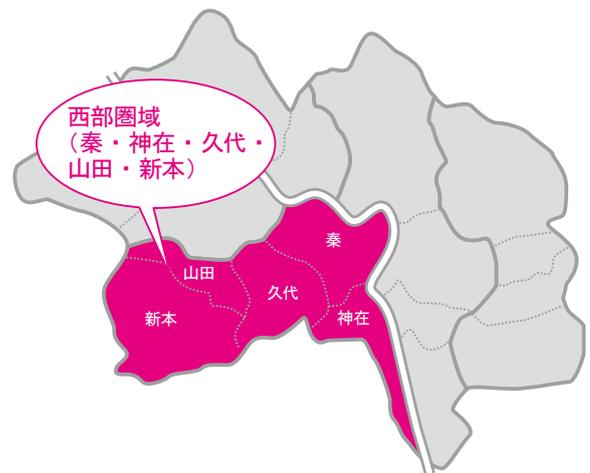
- 他の圏域と比べ、就労者が多いなどの特徴はみられますが、顕著な傾向差は目立ちません。まんべんなく総合的な施策の推進が必要と考えられます。
- 「服部」地区は、生活機能低下の人の割合が高く、注意を払う必要があります。

[3] 西部圏域

(1) 高齢化の現状

人口は圏域全体で 10,653 人です。高齢化率は「神在」地区で 20.6%, 「久代」地区で 21.1% と比較的低くなっています。

世帯人員はいずれの地区も 3 人前後で多くなっています。



	人口	世帯数	世帯人員※	65歳以上人口	高齢化率%	高齢者世帯数
総社市全体	67,306	24,569	2.7	15,598	23.2	2,999
西部圏域計	10,653	3,488	3.1	2,659	25.0	430
秦	2,076	670	3.1	610	29.4	107
神在	2,283	736	3.1	471	20.6	80
久代	3,802	1,262	3.0	804	21.1	123
山田	788	269	2.9	253	32.1	49
新本	1,704	551	3.1	521	30.6	71

平成 23 年 4 月 1 日現在 ※人 / 世帯

(2) 介護保険等の施設整備現状

平成 22 年度末現在の整備状況	平成 23 年度中の整備予定
<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム（1施設 50床） ・小規模多機能型居宅介護（1施設 25名） ・グループホーム（1施設 12名） 	・なし

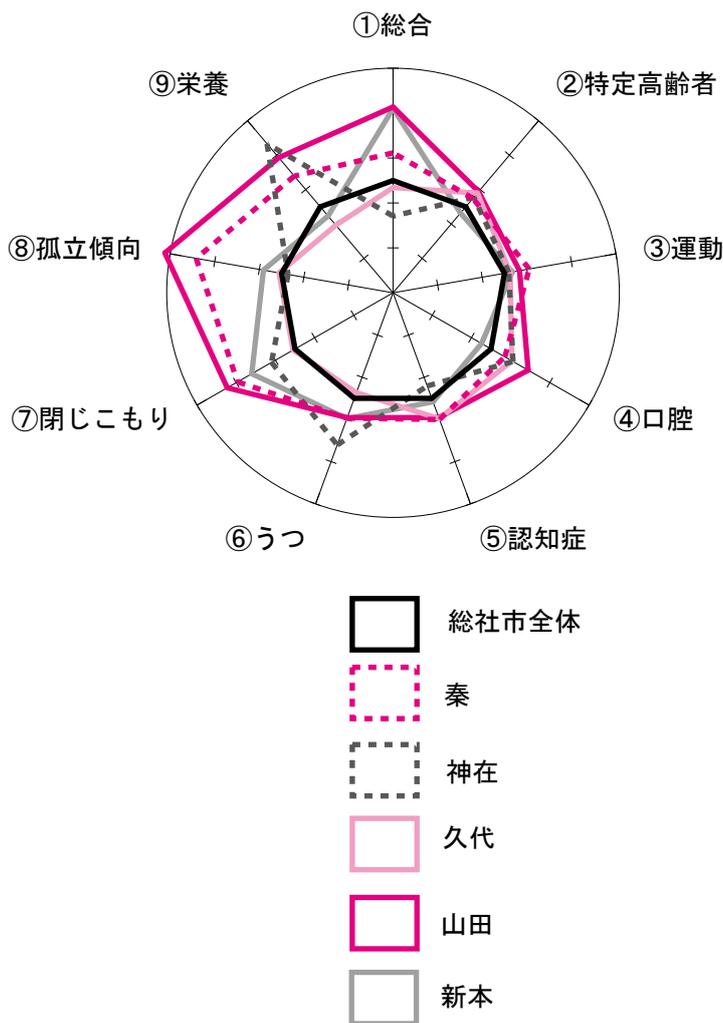
(3) 特定高齢者の現状

特定高齢者の割合は、圏域全体で 49.4% と、総社市全体を上回っています。特に「久代」「山田」では 50.0% を超えています。

	調査回収数	特定高齢者数	特定高齢者の割合 (%)	性別割合		年齢別割合	
				男性	女性	前期高齢者	後期高齢者
総社市全体	2,012	905	45.0	40.9	48.2	33.6	59.4
西部圏域	348	172	49.4	48.8	50.0	38.7	62.4
秦	79	39	49.4	46.3	52.6	43.2	57.1
神在	62	31	50.0	60.0	40.6	43.2	66.7
久代	113	59	52.2	44.8	60.0	37.9	67.3
山田	34	18	52.9	60.0	50.0	35.3	70.6
新本	60	25	41.7	44.0	40.0	28.6	53.1

■日常生活圏域二一ズ調査結果による特定高齢者の生活機能の状況

秦	<p>■高齢化率は29.4%と高くなっています。生活機能項目の「運動」「認知症」「閉じこもり」に該当する人がやや多くなっています。</p>
神在	<p>■高齢化率は20.6%と圏域内では最も低くなっていますが、特定高齢者の割合は50.0%となっています。特に生活機能項目では「うつ」「栄養」に該当する人が多くなっています。</p>
久代	<p>■圏域の中では最も人口が多い地域で、高齢化率は21.1%と比較的低くなっています。しかし、特定高齢者の割合は52.2%とやや高くなっています。</p>
山田	<p>■高齢化率は32.1%と圏域内では最も高く、特定高齢者の割合も52.9%と圏域内で最も高くなっています。生活機能項目で「口腔」「閉じこもり」「孤立傾向」の生活機能が低下している人が多くなっています。</p>
新本	<p>■高齢化率は30.6%で比較的高い地域です。特定高齢者の割合は低くなっています。生活機能項目では市全体とほぼ同じ割合となっています。</p>



(4) 圏域の課題

- 他の圏域と比べ、健康状態、身体状態にやや不調を感じる人が多く、健康増進や積極的な社会参画などを促す施策を強化する必要があると考えられます。
- 高齢者の家族との連携や、情報交換などを進めながら状況把握に努め、健康や身体機能の維持・向上に努めることが重要です。
- 各地区とも生活機能が低下している人の割合が高く、特に「うつ」「閉じこもり」「孤立傾向」の割合が高いことから、高齢者が出かけやすい身近な場所での取り組みや、地域での見守り、声かけが必要です。

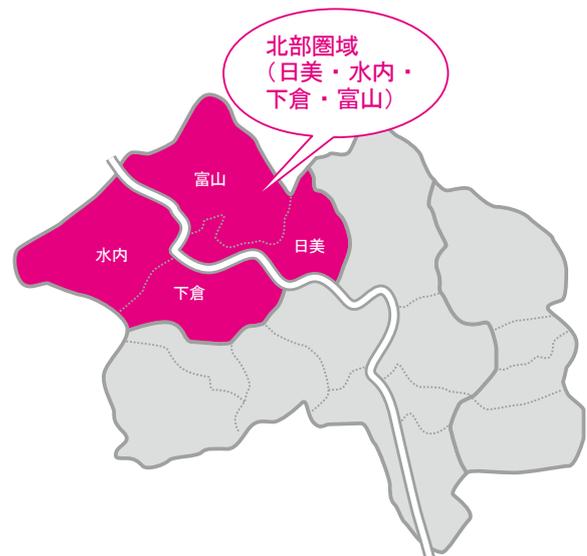
[4] 北部圏域

(1) 高齢化の現状

人口は圏域全体で3,730人で、人口規模は比較的小さな圏域です。

高齢化率は圏域全体でも39.5%と市内でも最も高く、特に「水内」「下倉」「富山」地区ではそれぞれ40%を超えるなど、全体的に高齢化が進んだ圏域となっています。

世帯人員は2.5人前後と市の平均を下回っており、独居高齢者や夫婦のみなどの小家族世帯が多い状況がうかがえます。



	人口	世帯数	世帯人員*	65歳以上人口	高齢化率%	高齢者世帯数
総社市全体	67,306	24,569	2.7	15,598	23.2	2,999
北部圏域計	3,730	1,466	2.5	1,475	39.5	328
日美	1,704	650	2.6	626	36.7	110
水内	1,028	411	2.5	423	41.1	97
下倉	656	247	2.7	269	41.0	72
富山	342	158	2.2	157	45.9	49

平成23年4月1日現在 ※人/世帯

(2) 介護保険等の施設整備現状

平成22年度末現在の整備状況	平成23年度中の整備予定
<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム（1施設100床） ・グループホーム（1施設18名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能型居宅介護（1施設24名）

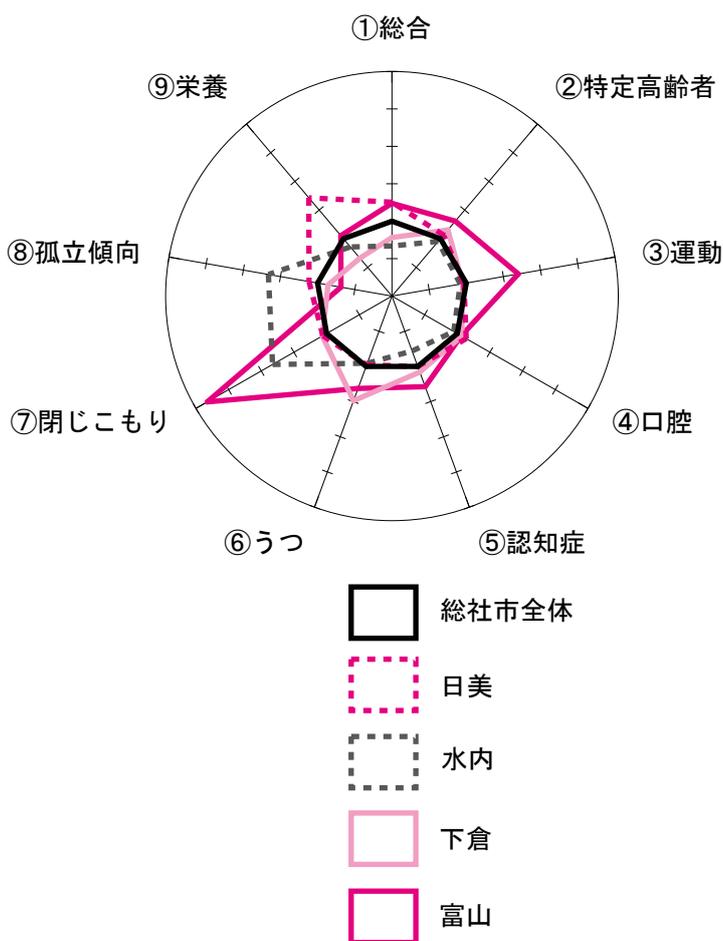
(3) 特定高齢者の現状

特定高齢者の割合は、圏域全体で48.4%と、総社市全体を上回っています。特に「富山」では60%近くに達しています。

	調査回収数	特定高齢者数	特定高齢者の割合(%)	性別割合		年齢別割合	
				男性	女性	前期高齢者	後期高齢者
総社市全体	2,012	905	45.0	40.9	48.2	33.6	59.4
北部圏域	159	77	48.4	41.8	53.3	29.2	61.7
日美	73	35	47.9	38.7	54.8	32.4	61.5
水内	42	18	42.9	23.5	56.0	16.7	62.5
下倉	27	14	51.9	60.0	47.1	40.0	58.8
富山	17	10	58.8	66.7	50.0	33.3	64.3

■日常生活圏域ニーズ調査結果による特定高齢者の生活機能の状況

日美	■高齢化率は36.7%、特定高齢者の割合は47.9%で、生活機能項目の「栄養」に該当する特定高齢者が比較的多くなっています。
水内	■高齢化率は41.1%で、特定高齢者の割合は圏域内では最も低くなっています。生活機能項目で「閉じこもり」「孤立傾向」に該当する特定高齢者が比較的多くなっています。
下倉	■高齢化率は41.0%で、特定高齢者の割合は51.9%となっています。生活機能項目で「うつ」に該当する特定高齢者が比較的多くなっています。
富山	■高齢化率は45.9%と、圏域内でも最も高齢化が進んだ地域で、特定高齢者の割合も58.8%に達しています。特に生活機能項目の「運動」や「認知症」「閉じこもり」に該当する割合が高くなっています。



(4) 圏域の課題

- 圏域全体としては、他の圏域と比べ高齢化が進んでいることもあり、身体機能の低下や閉じこもり傾向が出ています。医療、介護サービスのより一層の充実が求められます。
- 独居高齢者や夫婦のみ高齢者なども多いことから、地域でのサロンなどの身近な場所でのサービスや、相談支援体制の充実が必要です。
- また、積極的な外出行動や社会参画の促進や、地域での声かけや見守り活動の強化が必要と考えられます。

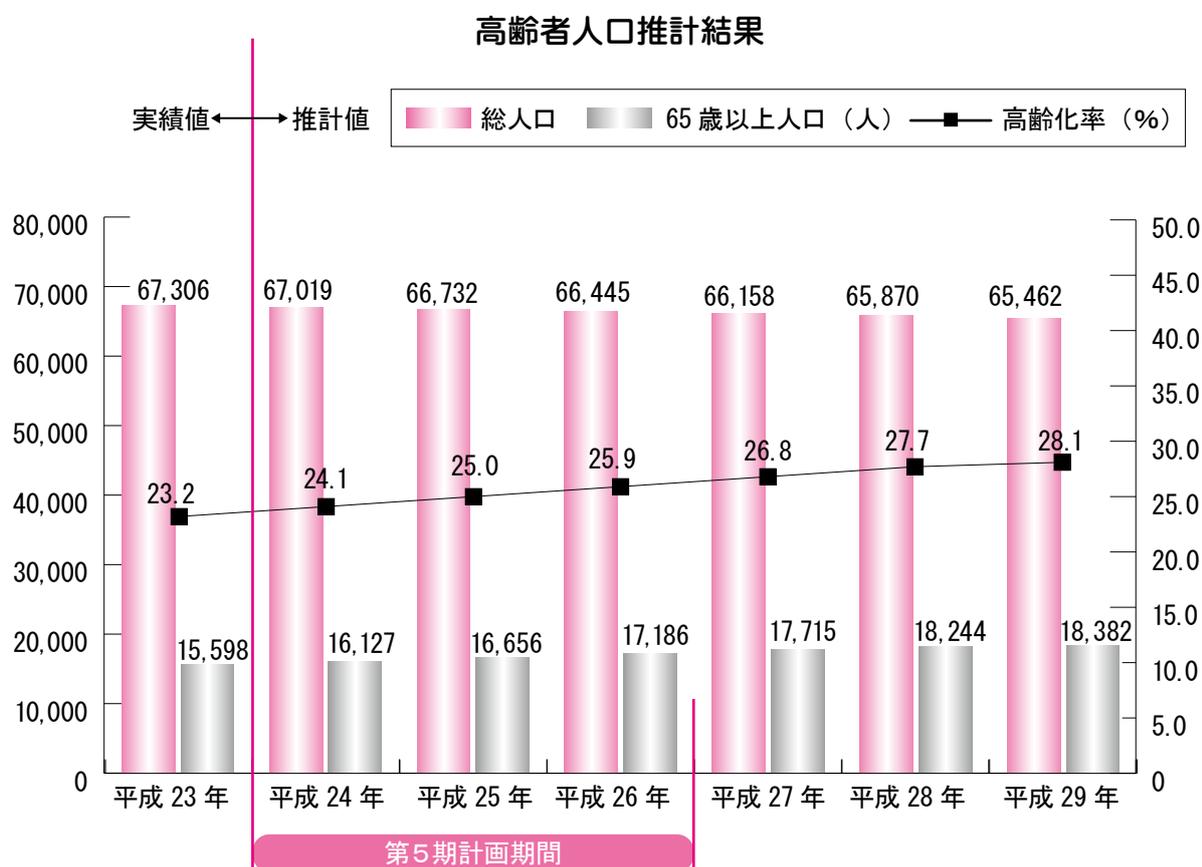
【2】 高齢者人口の将来推計

本市における今後の人口を推計しました。その結果、本市全体の総人口は、長期的に緩やかな人口減少が継続し、平成28年には65,000人台になると予測されます。

一方、高齢者の人口は増加基調で推移し、平成28年には18,000人を超えると予測されます。

高齢化率も、それに伴い増加基調で推移すると予測されます。第5期計画期間中である平成25年で25.0%と、4人に1人の割合になり、その後も増加が継続します。

このように本市においては、総人口は減少していくものの、高齢者人口は増加していくという推計結果となり、今後の高齢者福祉施策がますます重要になってくると考えられます。



※人口の推計に当たっては「住民基本台帳」を用いたコーホート要因法によって試算しています。

※コーホート要因法とは、コーホート(ある年齢層のかたまり)ごとに、すでに生存している人口については将来生命表を用いて年々加齢していく人口を求めると同時に、新たに生まれる人口については、将来の出生率を用いて将来の出生数を計算してその生存数を求める方法です。

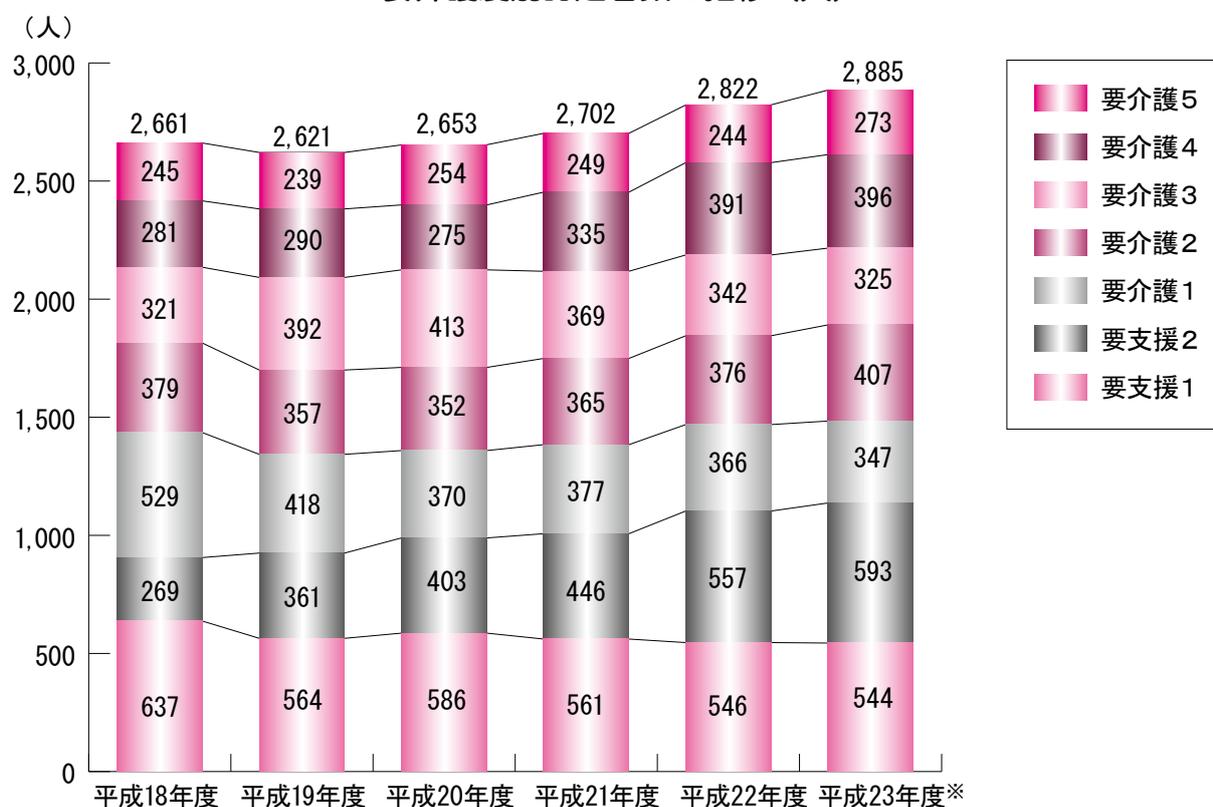
【3】介護保険事業の現状

1. 要介護等認定者数

本市の要介護等認定者（要支援・要介護認定者）の推移をみると、近年は増加基調で推移しており、平成22年度末現在で2,822人、平成23年度末見込みでは2,885人となっています。

平成22年度の認定者数をみると、要介護度別では「要支援1」と「要支援2」の認定者が多く、それぞれ500人を超えており、特に「要支援2」は近年、増加基調で推移しています。このほか、「要介護2」「要介護4」などが増加傾向にあります。

要介護度別認定者数の推移（人）



資料：厚生労働省 介護保険事業報告(各年度末)
 ※平成23年度は見込み値

2. 介護保険サービスの利用状況

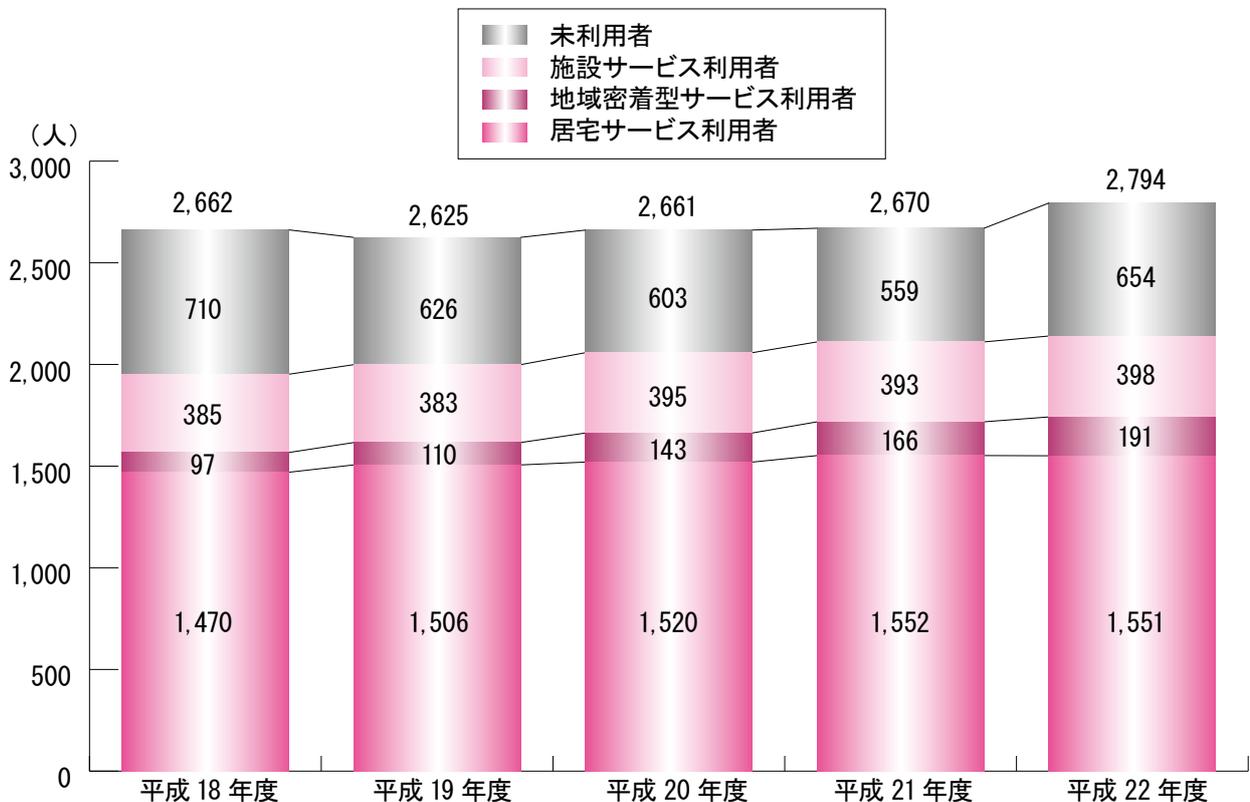
(1) サービス利用概況

介護保険サービスにおける居宅サービス利用者は、平成18年度で1,567人でしたが、平成22年度では1,742人と11.2%増加しています。

そのうち地域密着型サービスは、高齢者が住み慣れた地域や環境の中で、安心して生活を継続できるよう、身近な地域や居宅でサービスを提供するものです。創設年度の平成18年度では100人未満の利用でしたが、年々利用者数は増加し、平成22年度では200人近くと、2倍程度の増加となり、サービスとしての定着がうかがえます。

施設サービス利用者数については、おおむね横ばいの推移となっています。

居宅・施設サービス利用者の状況（人／月）



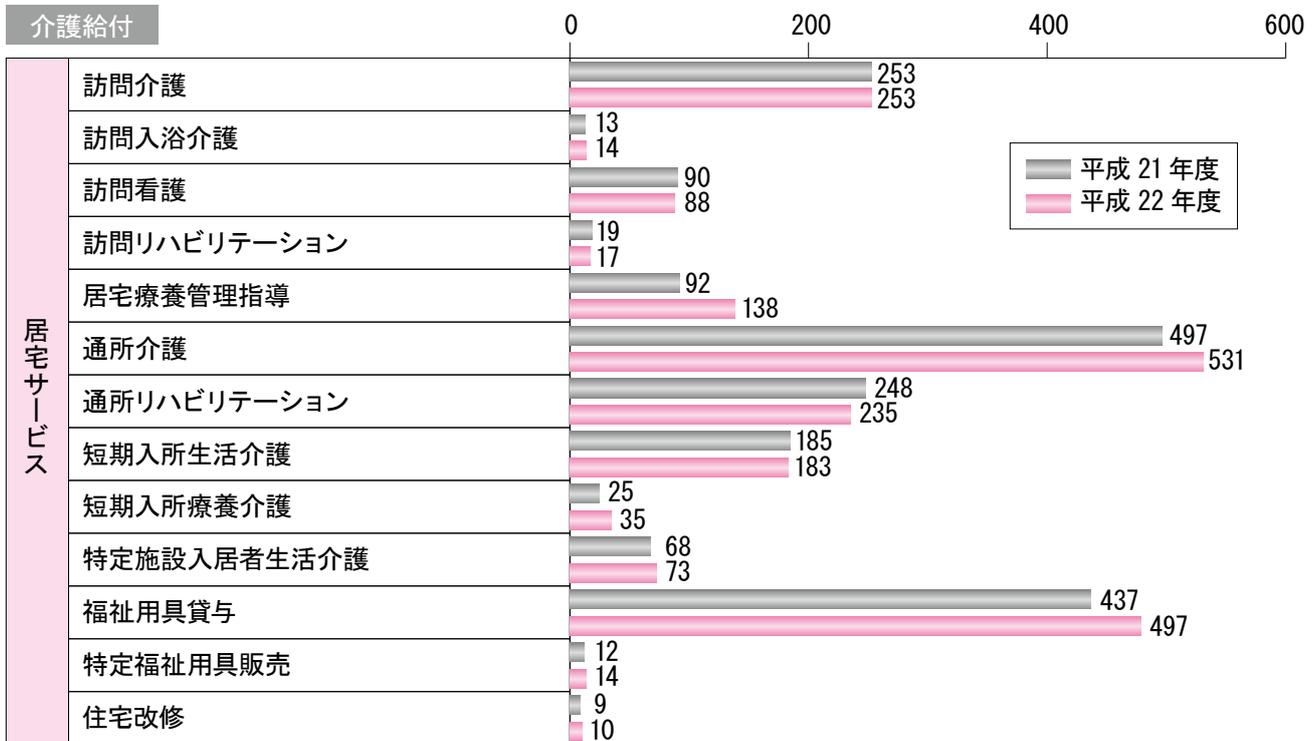
介護保険サービス利用者の状況（人／月）

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	伸び率※ (%)
居宅サービス計	1,567	1,616	1,663	1,718	1,742	111.2
居宅サービス利用者	1,470	1,506	1,520	1,552	1,551	105.5
地域密着型サービス利用者	97	110	143	166	191	196.9
施設サービス利用者	385	383	395	393	398	103.4
未利用者	710	626	603	559	654	92.1
合計	2,662	2,625	2,661	2,670	2,794	105.0

※伸び率は、平成18年度を100.0とした平成22年度の増減割合
資料：厚生労働省 介護保険事業報告（各年度末）

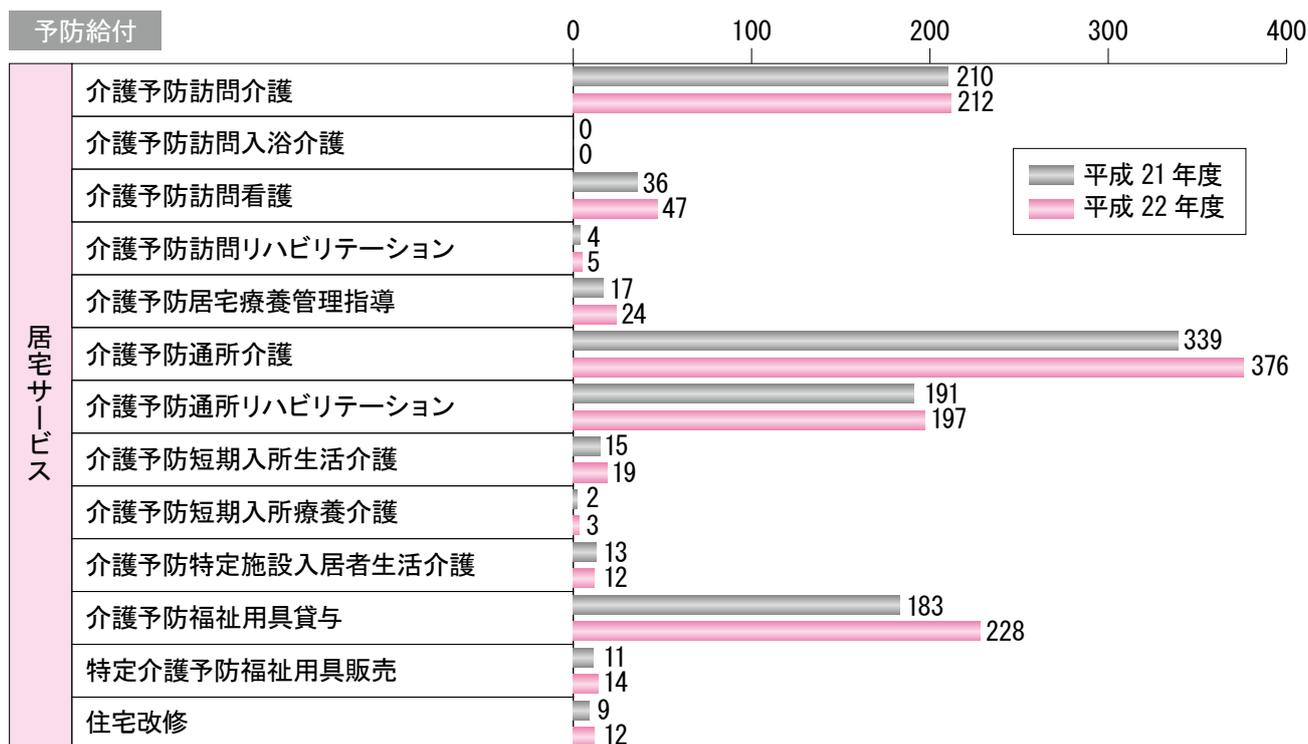
(2) 居宅サービス利用状況

居宅サービスについて、介護給付サービス別にその利用者数をみると、平成22年度実績では「通所介護」が最も多く、次いで「福祉用具貸与」が続いており、いずれも平成21年度の実績から増加しています。以下「訪問介護」「通所リハビリテーション」「短期入所生活介護」などの利用が多くなっています。



予防給付サービス別については、平成 22 年度実績では「介護予防通所介護」が最も多く、次いで「介護予防福祉用具貸与」が続いており、介護給付と同傾向でいずれも平成 21 年度の実績から増加しています。以下「介護予防訪問介護」「介護予防通所リハビリテーション」などの利用が多くなっています。

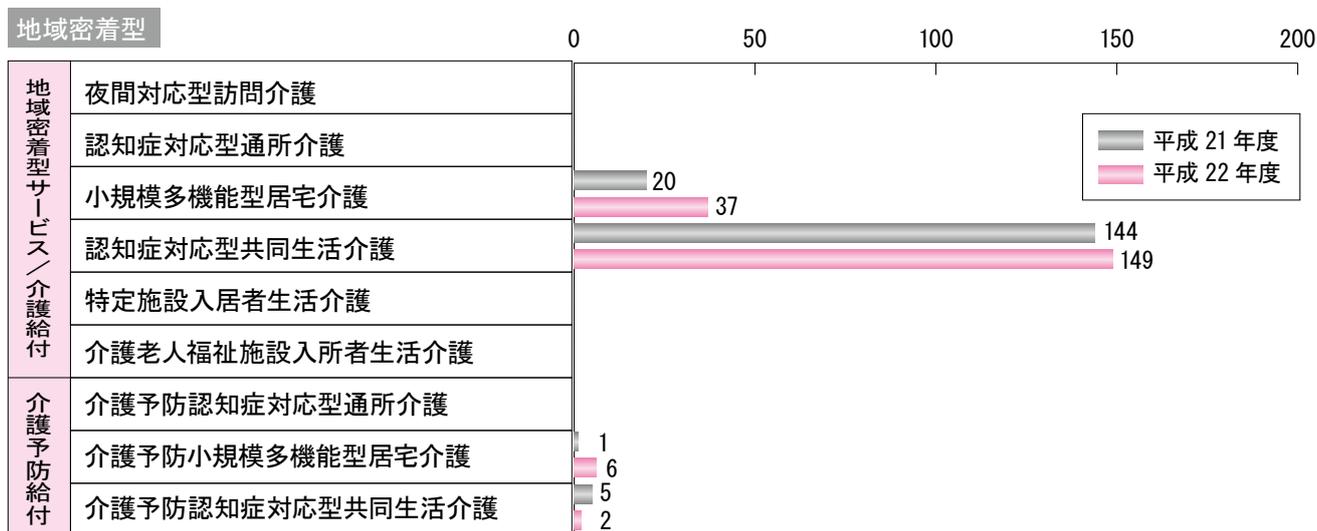
予防給付サービス別利用実績（人 / 月）



(3) 地域密着型サービス利用状況

地域密着型サービスでは、介護給付の「認知症対応型共同生活介護」が最も利用が多く、「小規模多機能型居宅介護」がそれに続きます。いずれも前年度より利用者は増加傾向にあります。

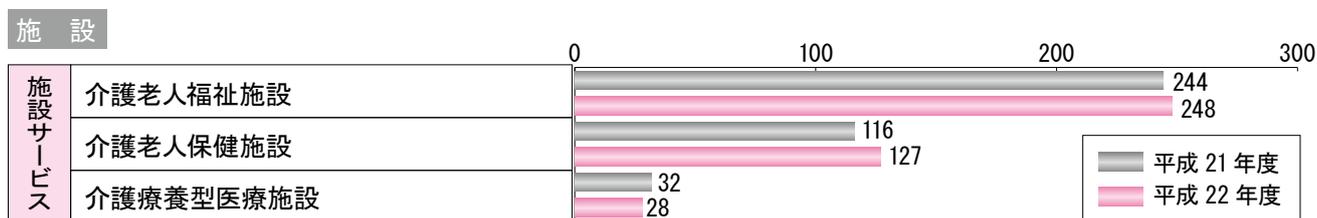
地域密着型サービス別利用実績（人／月）



(4) 施設サービス利用状況

施設別では、平成 22 年度「介護老人福祉施設」が 248 人、「介護老人保健施設」127 人、「介護療養型医療施設」28 人の利用となっており、「介護老人福祉施設」及び「介護老人保健施設」の利用は前年度より増加しています。

施設サービス別利用実績（人／月）



3. 給付費の推移

介護給付における総給付費をみると、平成18年度では約30億円でしたが、平成22年度では約36億円になり、20.6%の増加となっています。

介護給付費、予防給付費ともに年々増加傾向を示しており、介護給付費は平成18年度を100とした割合では、平成22年度の伸び率が112.9%、予防給付費は266.6%と、利用者数の増加等に伴い大きく増加しています。

総給付費の推移（千円）

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	伸び率※ (%)
総給付費 (介護給付＋予防給付)	3,018,110	3,103,326	3,276,145	3,447,129	3,639,286	120.6
介護給付費計	2,868,204	2,816,068	2,940,696	3,092,288	3,239,572	112.9
予防給付費計	149,906	287,258	335,449	354,841	399,714	266.6

介護給付費の推移（千円）

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	伸び率※ (%)
居宅サービス計	1,562,522	1,540,178	1,642,396	1,768,285	1,876,528	120.1
標準的居宅サービス	1,278,046	1,232,409	1,258,091	1,327,419	1,387,295	108.5
地域密着型サービス	284,476	307,769	384,305	440,866	489,233	172.0
施設サービス	1,163,326	1,164,182	1,190,200	1,201,767	1,238,418	106.5
ケアプラン作成等	142,356	111,708	108,100	122,236	124,626	87.5
介護給付費計	2,868,204	2,816,068	2,940,696	3,092,288	3,239,572	112.9

予防給付費の推移（千円）

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	伸び率※ (%)
居宅サービス計	130,993	255,704	301,531	318,657	360,892	275.5
標準的居宅サービス	129,452	254,185	296,287	307,137	350,713	270.9
地域密着型サービス	1,541	1,519	5,244	11,520	10,179	660.5
ケアプラン作成等	18,913	31,554	33,918	36,184	38,822	205.3
予防給付費計	149,906	287,258	335,449	354,841	399,714	266.6

※伸び率は、平成18年度を100.0とした平成22年度の増減割合
資料：厚生労働省 介護保険事業報告（各年度末）

サービス別の給付費をみると、平成22年度において実績値が計画値を上回っているサービスとしては、「④訪問リハビリテーション」「⑤居宅療養管理指導」「⑥通所介護」「⑪福祉用具貸与」などがあげられます。

サービス給付費の対計画比

単位（千円，％）

		平成21年度			平成22年度		
		計画値	実績値	対計画比	計画値	実績値	対計画比
居宅サービス	①訪問介護	117,517	99,017	84.3	109,181	98,964	90.6
	②訪問入浴介護	11,693	8,518	72.8	8,854	8,375	94.6
	③訪問看護	55,529	41,904	75.5	48,243	43,487	90.1
	④訪問リハビリテーション	5,880	6,715	114.2	5,303	6,334	119.5
	⑤居宅療養管理指導	8,518	8,358	98.1	8,097	12,907	159.4
	⑥通所介護	455,603	471,686	103.5	444,954	510,126	114.6
	⑦通所リハビリテーション	262,174	233,267	89.0	256,531	231,384	90.2
	⑧短期入所生活介護	218,624	200,974	91.9	201,893	198,344	98.2
	⑨短期入所療養介護	25,295	18,029	71.3	21,813	23,462	107.6
	⑩特定施設入居者生活介護	159,259	153,961	96.7	161,790	165,987	102.6
	⑪福祉用具貸与	68,810	70,864	103.0	62,509	72,626	116.2
	⑫特定福祉用具販売	4,234	3,772	89.1	4,324	4,079	94.3
地域密着型サービス	①夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-	-
	②認知症対応型通所介護	-	-	-	-	-	-
	③小規模多機能型居宅介護	102,855	38,874	37.8	135,498	68,945	50.9
	④認知症対応型共同生活介護	432,080	401,994	93.0	432,080	420,288	97.3
	⑤特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-
	⑥介護老人福祉施設入所者生活介護	-	-	-	-	-	-
住宅改修		11,134	10,364	93.1	11,587	11,226	96.9
居宅介護支援		122,657	122,236	99.7	120,678	124,627	103.3
施設サービス	①介護老人福祉施設	772,981	713,466	92.3	918,169	732,499	79.8
	②介護老人保健施設	372,330	362,127	97.3	622,143	397,128	63.8
	③介護療養型医療施設	144,434	126,175	87.4	133,262	108,792	81.6
	小計	1,289,745	1,201,768	93.2	1,673,574	1,238,419	74.0
合計		3,351,606	3,092,299	92.3	3,706,908	3,239,582	87.4

